

幼小接続カリキュラム

アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム

熊本市版



熊本市教育委員会
平成29年3月

はじめに

幼稚園の教育と小学校以降の教育には、様々な「違い」が存在しています。（「遊びを通して総合的な教育」と「教科教育」など）。そのため、小学校進学時にとまどう児童や、適応が難しい児童がみられるなどの課題があります。

幼児期の教育と小学校の教育を滑らかにつなぐ「幼小接続」については、その重要性が認識され、授業、行事、研究会などの交流が充実し、接続を見通した教育課程の編成・実施を行う園・小学校が全国的に増加しています。（文部科学省「平成26年度 幼児教育実態調査」）

そこでこの度、本市の幼稚園と小学校の円滑な接続を推進するために、幼稚園、小学校の先生方の協力を得て「幼小接続カリキュラム（アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム）熊本市版」を作成しました。このカリキュラムは、学びの芽生えの時期から自覚的な学びの時期へ円滑に移行できるよう、様々な工夫がされています。幼稚園での教育は、小学校で学ぶことを前倒しするのではなく、園から小学校への学びのつながりを踏まえた援助を保育者が行うこと、また、小学校での教育は、幼児期に育った学びの芽を、小学校が引き継いで伸ばしていくという考え方を基本として、それぞれの園や学校の実態に応じて実践し、カリキュラムを自校のものに修正していただければと思います。

本書が、幼小接続の理解と実践の手助けとなり、熊本市の子どもたちの健やかな成長に繋がっていくことを切に望んでいます。

目次

1 幼小接続の在り方について	P 1
2 くまもと版 幼小接続モデル事業 イメージ図	P 2
3 アプローチカリキュラム	P 3
4 スタートカリキュラム	P18

幼小接続の在り方

- 幼児期から児童期にかけては**学びの基礎力を培う時期**であり、互いの教育を見通し、連続性・一貫性のある教育を行う必要があります。
- 幼児期から児童期への発達や学びの連続性の姿を「**学びの自立**」「**生活上の自立**」「**精神的な自立**」の三つの自立の視点から共通理解し、**教育課程の接続**を考える必要があります。
- 幼児期、児童期(低学年)の発達の特性から、直接的具体的な対象(人・もの)とのかかわりを通して、**学びの芽生えから自覚的な学びへ円滑な移行**が図られるようにすることが大切です。

※遊びの中での学びと各教科等の授業を通した学習という違いがあるものの、「人とのかかわり」や「ものとのかかわり」という直接的・具体的な対象とのかかわりで幼児期と児童期の教育活動のつながりを見通して円滑な移行を図ることが必要です。

『幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について(報告)(平成22年11月)』より



くまもと版 幼小接続モデル事業 イメージ図



幼稚園と小学校で組織的・継続的な連携・交流を行い、幼児期から児童期の子どもたちが、園生活・学校生活を不安なく送ることができ、その保護者を支援・啓発するような、幼・小接続を見通した効果的なカリキュラムを進め、本市における幼・小接続の取り組みの充実を図る。

「徳・知・体」の観点から、園・学校の枠を超えて連続性・一貫性をもたせた教育を行う。

「ひと」や「もの」との関わりを通して、「学びの基礎力」の育成を図る。

園・学校が「幼児期・児童期における育ってほしい子どもの姿」を共有し、長期的かつ柔軟な視点で取り組む。

<取り組みの例>

幼児期

- ・場面に応じて親しみをもって挨拶をする
- ・仲間意識をもって、自分たちで遊ぶ 等

- ・日常生活で字や絵に興味をもつ
- ・身の回りの整理をする 等

- ・お弁当の準備や時間を楽しむ
- ・基本的な生活習慣を身につける 等

<取り組みの例>

児童期

- ・身近な人に気持ちの良い挨拶ができる
- ・決まりを守って、集団で仲良く遊ぶことができる 等

- ・字や絵を丁寧に書くことができる
- ・自分で学校の準備をすることができる 等

- ・給食の役割や栄養について考えることができる
- ・自分の体について考え、大切にできる 等

教育委員会:幼・小接続推進会議の設置、カリキュラム(案)の検討

幼児期

【アプローチカリキュラム】 接続期 【スタートカリキュラム】

児童期(低学年)

実践的なカリキュラムの検討・作成

子ども同士の交流

実践的なカリキュラムの検討・作成

幼稚園:コーディネーターを設置し園全体で取り組む

恒常的な取り組み

学校:コーディネーターを設置し学校全体で取り組む

教員相互の情報交換



アプローチカリキュラムとは、就学前の幼児が円滑に小学校の生活や学習へ適応できるようにするとともに、幼児期の学びが小学校の生活や学習で生かされてつながるように工夫された5歳児のカリキュラムです。(国立教育政策研究所)



アプローチカリキュラムの見方と進め方

年長児の10月～3月を小学校への接続期と捉え、「幼児教育において育みたい資質、能力」を総合的に育てることができるよう作成している。特に、生活面は小学校での生活もイメージしながら作成した。

- * 熊本市の教育方針である「徳・知・体」を幼稚園教育要領の5領域と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について(報告)H22)に絡ませて作成したものである。

これらの視点を踏まえ、幼稚園生活の中で計画的に取り組んでいくことが大切である。



「徳・知・体」と「5領域から見た内容」との関連

視 点	就学までに 身につけさせたい姿(例)	5領域から見た内容 10月～3月
☆人とかかわる力を 身に付ける 人間関係 言 葉 健 康 環 境	<ul style="list-style-type: none"> ○クラスみんなで共通の目的をもって話し合ったり、役割を分担したりして、実現に向けて力を發揮し、やり遂げ満足感や達成感を味わう。 ○いろいろな友達と積極的にかかり、友達の思いや考えなどを感じながら行動する。 ○友達と折り合いをつけ、自分の気持ちを調整する。 ○みんなと心地よく過ごしたり、より遊びを楽しくしたりするためのきまりがあることが分かり、守ろうとする。 ○言葉を通して人と心を通わせる。 ○身近な人や地域の行事に触れ、親しみを感じる。 ○身近な動植物に親しみをもって接し、いたわり、大切にする気持ちをもつようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と一緒に力を合わせて同じ目的に向かって活動することを楽しむ。(人8) ○したいこと、してほしいことなど自分の思いを言葉で伝えると共に相手の思いにも耳を傾け互いのよさを認め合って生活する。(人5、6、7 言3、4、5) ○自分から挨拶を交わしたり感謝やお礼の気持ちを言葉で伝えたりする。(言5、6) ○してよいこと、悪いことが分かり、きまりや約束を守って考えて行動する。(健10、人2、9、11) ○自分の生活に関係の深い情報や施設、暮らし物、地域の人々などに 관심をもち、親しみをもつ。(人13、環10)
☆好奇心や探求心を もっていろいろな ものにかかわる ☆自分の思いを表現 する 言 葉 表 現 環 境	<ul style="list-style-type: none"> ○予想する、試してみる、調べてみる、確かめてみるなど好奇心をもって、ものにかかわる。 ○自然に出会い、感動する体験を通じて、自然の大きさや不思議さを感じ、畏敬の念をもつ。 ○生活中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにもちながら楽しく表現する。 ○遊びや生活中で数量などに親しむ体験を重ねたり、文字や標識の役割に気づいたりして、数量・図形、文字などへの関心・感覚を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○季節の変化に気付き、不思議を感じたり、ふれたり、遊びに取り入れたりする。(環1、3、4) ○日常生活の中で数量や図形、簡単な標識や文字などに 관심をもち文字などで伝える楽しさを味わう。(環8、9、言10) ○生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにし感動したことを伝え合う楽しさを味わう。(表2、3) ○絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き想像する楽しさを味わう(言9)。 ○体験したことや自分の思いを絵や言葉、体全身でのびのびと表現する楽しさを味わう。(言8表6、7、8)
☆健康で安全な生活 をする 健 康	<ul style="list-style-type: none"> ○健康な生活リズムを通して、自分の健康に対する関心や安全についての構えを身に付け、自分の体を大切にする気持ちをもつ。 ○衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動の必要性に気付き、自分でです。 ○集団での生活の流れなどを予測して、準備や片付けも含め、自分たちの活動に、見通しをもって取り組む。 ○体を動かすさまざまな活動に目標をもって挑戦したり、困難なことにつまずいても気持ちを切り替えて乗り越えようとしたりして、主体的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの清潔を心がけ、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要なことを自分でです。(健7) ○健康な生活リズムを身に付け、見通しをもって生活する。(健6、8) ○自分の健康に関心をもち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。(健9) ○危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する。(健10) ○日常の食事に関心をもちバランスよく食べるとの大切さを理解する。(健5) ○食事のマナーを身に付け、楽しく食べる。(健5、7) ○いろいろな運動遊びに関心をもって取り組みながら体を動かすことを楽しみ、自分の力を發揮する。(健2、4)

*太字は関連する主な領域

》 5歳児 10月

ね ら い

- 自分なりの目標や課題に向かって根気強く取り組み、達成感を味わう。
- 共通の目的に向かって、友達と考えを出し合ったり受け入れたりしてやり取りすることを楽しむ。
- 季節の変化に興味・関心をもち、友達と一緒に見たり触れたりして楽しむ。

経験してほしい内容

- 自分なりの目標に向かって力を発揮し最後まで頑張って取り組む。
- 何事にも意欲的に挑戦したり繰り返し取り組んだりして、やり遂げる喜びを感じ自信をもつ。
- 運動能力測定において、自分の力を十分に出して取り組む。

- 目的に向けて友達と思いや考えを出し合い、自分たちの運動会を作っていくこうとする。
- 自分の思いを伝えたり、友達の意見をしっかり聞いたりする。
- 頑張っている姿を友達と互いに認め合ったり、励まし合ったりする。
- 友達と考えを出し合いながら、みんなで遊びを工夫したり役割分担をしたりしてアイデアを広げる。
 - ・運動会で経験したこと再現して遊ぶ。
(運動会の絵、運動会ごっこなど)
 - ・友達と一緒に運動的な遊びを楽しむ。

- 身近な自然の様子から季節の変化に気付き、自然物に触れたり遊びに取り入れたりする。
- 土づくりを行い、冬野菜の種まきをしたり球根を植えたりする。
- 植物の生長に関心をもち、水やりをしたり様子を見たりしながら大切に育てる。
- 芋ほりを体験する中で、土の中の実りの様子や芋の特徴に気付く。
- 芋ほりをする中で、芋の大きさや形、重さなどに興味・関心をもち、比べたり計ったりする。

身近な環境・教材	生 活
<p>自然… フウセンカズラの種取り、ドングリやマツボックリ等の木の実、落ち葉、バッタ、トンボ、コオロギ、ヒヤシンス、クロッカス、スイセン、ビオラ、パンジー、コスモス、フリージア、キンモクセイ</p> <p>野菜… (植えつけ)ダイコン、ホウレンソウ、キャベツ、ソラマメ、エンドウマメ、ニンジン、パセリ、ミズナ、サントウナ、コマツナ</p> <p>歌…… 花歌、運動会の歌、くりのみぼうや、どんぐりころころ、まつぼっくり、虫の声、いもほりのうた</p> <p>体操… どんぐり体操</p> <p>フォークダンスなど… パウ・パウ・パッチ、のぞきっこ、チェスト・ナット・ツリー</p> <p>絵本… むしたちのうんどうかい、ロボット・カミイ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○汗をかいたら、若替えたり洗顔したりする。 ○自分で名札を付ける。 ○弁当(給食)を残さず食べる。 ○ご飯とおかずは交互に食べる。 ○友達と一緒に保育室や自分の棚をきれいにする。 ○席で床を掃く。 ○雑巾かけをしたり雑巾を絞ったりする。 ○園内のバトロールをし、片付け忘れがないか、進んで環境を整える。 ○横断歩道の渡り方を確認し、交通ルールを守る意識を高める。 ○公共のマナーを身に付ける。 ○いろいろなトイレを使ってみる。
<p>自分なりの目標や課題に向かって根気強く取り組み、達成感を味わうために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな運動遊びの場や用具を準備し、いろいろな活動に取り組む楽しさを味わえるようにする(雲梯、のぼり棒、鉄棒、ボール、縄跳び、竹馬など)。 ○チャレンジカードなど目標をわかりやすく記したものを利用などして、自分で目的をもって取り組み、できる喜びを感じられるようにする。 ○教師も一緒に取り組み、少しずつできるようになったことを認めたり喜びを共感したりして、楽しさを共有し、子どもの意欲を高めていく。 ○子どもたちの取り組む様子を見守り、やり方などを必要に応じてアドバイスすることで子どもの挑戦意欲を高める。最後まで気持ちが続くようにし、達成した喜びを感じられるようにする。 ○運動能力測定の環境を早めに準備し、普段の生活の中で、自由に取り組めるようにする。(まりつき用の円、片足とびのライン、立ち幅跳びの目標になるようなライン、棒上片足立ちの棒や板、ジグザグ走や往復走のコーナー)。また、やり方をわかりやすく話したり、目標となる目印を掲示したりして、意欲的に自信をもって取り組めるように配慮する。 <p>共通の目的に向かって、友達と考えを出し合ったり受け入れたりしてやり取りすることを楽しむために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○同じ目的に向けて友達と話し合う場を設け、互いの考え方や思いを出し合いながら、互いに納得して活動に取り組めるように視覚的教材(昨年度の運動会の様子の写真やごっこ遊びのイメージが湧くような写真や、友達の話を教師が絵にしたものなど)を用いながら援助していく。 ○思いを言葉で表現する中で、教師が言葉を付け加えたり、言い換えたりして周りの友達に伝わりやすいように援助する。また、伝え方の良かった点やしっかり聞いている友達の姿などを認め、一人一人が意識して話し合いに取り組めるようにする。 ○運動遊び(雲梯やのぼり棒、鉄棒、ボール、縄跳び、竹馬)などをクラス活動で一緒に取り組む場を設け、互いの頑張っている姿に気付いたり、認めたりしながら、同じ目的をもった友達に刺激を受け、教え合いができるようにする。 ○子どもたちが頑張っている姿や昨日よりもできるようになったこと、良くなっているところをしっかりと認め励ましながら、次の目標をスマールステップで伝えていくことで、次への意欲と取り組みを継続していく気持ちを高めていく。 ○子どもの感動体験を伸び伸びと表現できるように、活動後すぐに画材を準備し、その時の様子などを思い出させながら表現できるようにする。(一人1枚の大きめの紙、絵の具やバス) ○自分たちで道具を出し入れできる場に準備し、異年齢児に自分たちの動きを教えたり、役割を変えたりしながら運動会ごっこを楽しめるようにする。 <p>季節の変化に興味・関心をもち、友達と一緒に見たり触れたりして楽しむために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○園内を散策したり、近隣の公園などに出かけたりして、落ち葉や木の実に関心がもてるようにする。また、拾ってきた自然物(落ち葉、どんぐり、まつぼっくり、すすきや野の花)で遊べるように、廃材や木材など準備する。(廃材、段ボール、ポンド、木片、めうち) ○子どもの気づきや言葉を受け止め、教師も一緒に活動しながらいろいろなかかわり方を知らせることで、五感を通して自然物に触れられるようにする。(匂う、音を聞く、転がす、落とす、握るなど) ○花壇や自分のプランターに秋まきの野菜や花を植え、毎日の子どもの動線上にじょうろと一緒に置くことで、水やりを進んで行うなどの世話をする気持ちを育っていく。 ○芋ほりを体験した後は、子どもの身近な所に秤を準備し収穫した芋の重さや大きさを量ってみたり、みんなで食したりする場を設ける。 	
<p>環境の構成・援助のポイント</p>	

» 5歳児 11月

ね ら い

- 共通の目的に向かって、友達と協力して取り組む楽しさを味わう。
- いろいろな遊びに取り組む中で自分の力を発揮し、可能性を広げながら意欲をもって取り組む。
- 季節の移り変わりを感じ、秋の自然の美しさや不思議さに気付く。

- 友達と一緒に考えたり工夫したりしながら、つくったり演じたりすることを楽しむ。
- 友達のよさに気付き認め合う。
- 友達の意見を聞いたり自分の考えを伝えたりしながら力を合わせ、試行錯誤しながらより良いものをつくろうとする。
 - ・話や劇を友達と相談しながらつくる。
 - ・同じ目的に向かって役割分担をしたり協力をしたりして取り組む。
 - ・自分の考えやイメージを友達にわかるように話すと共に相手の思いにも耳を傾ける。
 - ・遊びに必要なものをつくったり集めたりする。
 - ・目的やイメージに合わせて素材を選んだり、使い方を工夫したりする。
- 遊びの中で、必要なルールを自分たちでつくって遊ぶ。(ドッジボール、サッカー、鬼ごっこ、陣取りなど)

経験してほしい内容

- 友達と一緒にいろいろな遊びを楽しみ、継続して取り組みながら、自分の力を発揮する。
 - 自分の目的に向かって粘り強く取り組み、できるようになる喜びを味わう。(竹馬、なわとび、一輪車、ホッピング、折り紙などの製作、カブラ、スカリーノなど)
 - 自分たちの頑張りを友達同士で伝え合ったり、認め合ったりする。
-
- 秋の自然に触れ遊びに取り入れる。
 - ・ドングリや落ち葉などの自然物の形や数量などに関心をもつ。
 - ・自然物の特性(色や形など)を生かして遊ぶ。(木の実を転がしてゲームや遊びを考える)
 - ・構成的な遊びをする。(落ち葉の貼り絵、絵の具のブラッシング、コンテのこすり出しなど)
 - 秋の実りを収穫したり喜びを味わったりする。(芋、柿、干し柿つくり)
 - ・収穫物を使った料理をみんなで食べる。(ふかし芋、焼き芋、スイートポテト、味噌汁 など)
 - ・親子で食することで、食への関心を高める。
 - 季節の移り変わりを感じ、冬が近づいていることを知る。
 - ・衣服の調節をする。(寒いときは上着を着る、暑くなったら脱ぐ)
 - ・弁当保温をし、温かい弁当を喜んで食べる。
 - ・水や空気の冷たさ、手や足が冷たくなるなどの感覚を味わう。
 - ・落ち葉の多さに気付き、みんなで掃いたり遊んだりする。
 - ・木々の葉がなくなっていることに気付き、冬の訪れを感じる。

身近な環境・教材	生 活
<p>自然… ヒヤシンス、クロッカス(水栽培)、ムスカリ、スイセン、チューリップ、イチョウ、キンモクセイ、ドングリ、マツボックリ、木の枝、落ち葉、葉の落ちた木、みのむし</p> <p>野菜… (植えつけ)タマネギ、サラダレタス、カブ、プロッコリー(収穫)サツマイモ、柿</p> <p>歌…… もみじ、まっかな秋、きのこ、山の音楽家、いもほり、こぎつね、たきび、ちいさい秋みつけた、りんごとみかん</p> <p>体操… どんぐり体操</p> <p>フォークダンスなど…</p> <p>かもつ列車、パウパウバッヂ、エースオブダイヤモンド、タタロチカ</p> <p>絵本… おおきなおおきなおいも、14匹のおいもほり、もりのかくれんぼう、エルマーのぼうけん、月刊絵本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○弁当箱、食器を持って食べる。 ○弁当(給食)は30分以内で食べ終わる。 ○ハンカチ、ティッシュを使う。 ○靴を立ったまま履いたり、衣服を立って着たりする。 ○気温の変化に合わせて衣服の調節をする。(防寒具の着脱、脱いたら畳んだり、ハンガーにかけたりする、薄着の習慣をつける) ○自分から進んであいさつをする。 ○いろいろなあいさつを身につける。
<p>環境の構成・援助のポイント</p> <p>共通の目的に向かって、友達と協力して取り組む楽しさを味わうために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○共通の目的や見通しをもって遊びや生活ができるように、十分な時間と継続して遊べる場の確保をする。 ○互いのイメージやアイディアを出し合い、作ったり、描いたりして楽しめるように材料や用具を幼児と共に整理したり、必要に応じて補充したりする。(段ボール、段ボールカッター、布テープ、木片、pondなど) ○互いの遊びが見えるような場の設定や遊びの様子を知らせ合う機会を設けたりすることで、友達の遊びから刺激を受け仲間意識を感じることができるようになる。 ○一人一人の考えやアイディアを出し合いながら共通の目的をもち、充実感を味わえるように援助する。幼児が工夫している様子や新しいアイディアなどを認め、自信につなげたり、他の友達のよさに気付いたりするように配慮する。 ○みんなで物語を楽しむ場を設け、イメージを豊かにしたり友達と共通のイメージをもてるようにしたりする。 ○生活発表会に向けて、内容や準備などについて話し合い、見通しをもって活動できるように決まったことや予定など分かりやすく図示する。 ○自分たちで遊びを進めていくうとする気持ちを大切に見守りながら、一人一人の子どもが自分の思いや考えを發揮し、ルールを決めたり遊びを進めたりできるように支える。 <p>いろいろな活動に取り組む中で、自分の力を発揮し、可能性を広げながら意欲をもって取り組むために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な遊具に取り組む中で、幼児一人一人の変容の状況を丁寧に把握する。その子の状態に応じて、励ましの言葉をかけたり、頑張っている幼児の姿を見せたりして自分なりの目的をもって取り組めるようにする。 ○友達同士で上達するコツを教え合い、出来るようになる楽しさを友達と一緒に共有できるようにする。 ○新しい遊び方を考えたり工夫したりして、遊びを楽しくしている様子に共感し、周りの幼児にも広がっていくように援助する。また、勝ち負けや技能だけにとらわれないようにし、その子なりの頑張りや楽しみ方を認めていく。 <p>季節の移り変わりを感じ、秋の自然の美しさや不思議さに気付くために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然物の特性(色や形)を生かして遊んだり、構成的な遊びをしたりできるように木の実や落ち葉などを幼児と一緒に整理し、いつでも遊べるようにしておく。 ○秋の実りを収穫し、それを使った料理をみんなでつくって食べ、秋の味覚を味わうとともに体にとって良い食べ物を考えるきっかけとする。また、保護者にも食べてもらったりレシピを紹介したりして食への関心が高まるようにする。 ○自分たちで植えた冬野菜の世話を進んで出来るように、子どもたちの目のつきやすい場所にプランターを置く。子どもの気付いた野菜の生長や変化などに耳を傾け共感する。 ○寒暖の差が出やすい季節なので子どもの健康状態の変化を把握するとともに、衣服の調節の必要性に気付かせる。換気をこまめに行い、感染症の対策をする。 ○自然の変化(葉の色、葉の落ちた木、気温)に気付いたり、発見したりして心が揺さぶられたことに共感する。教師も季節の変化に敏感になり、自然を生活の中に取り入れたり、遊びを紹介したりしていく。 	

» 5歳児 12月

ね ら い

- 共通の目的に向かって、友達と協力して取り組み、達成感を味わう。
- 友達と一緒に、寒さに負けず戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- 冬の自然や行事に興味・関心をもち、遊びや生活に取り入れて楽しむ。

経験してほしい内容

- 友達と考えを出し合い、話し合ったり役割を分担したりして一緒に活動を進め、最後までやり遂げる。
- 自分の力を発揮し、自信をもって活動に取り組む。
- イメージ豊かにいろいろな表現の方法を考え、互いにアイデアを出し合う。
- 友達に分かるように自分の思いを伝え、相手の考えを受け入れながら、よりよくしようと工夫する。
- 劇や合奏、ごっこ遊びなどさまざまな表現活動を友達と一緒に楽しみ、心や力を合わせる楽しさを知る。

- 遊びの中で必要なルールを友達と一緒に作り、共有して遊ぶ。
(鬼ごっこ、ドッジボール、サッカー、陣取りなど)
- 寒さに負けずに元気に体を動かして遊ぶ。
- 自分なりの目標をもち、苦手なことにも挑戦しようとする。
(固定遊具、短縄、長縄、ホッピング、竹馬、まりつき、一輪車など)

- 冬の自然現象に興味・関心をもち、発見したり工夫したりしながら遊びに取り入れる。
(吐く息の白さ、霜柱、日向と日陰、木々の様子、空や雲の様子)
- 寒いときはなるべく日向を選んで遊んだり、衣服の調節をしたりする。
- 栽培物等の冬の植物に関心をもち観察したり、世話をしたりする。(球根の栽培、ダイコン、ホウレンソウ、ブロッコリー、ハクサイ、サニーレタス、カブ、ポインセチア、シクラメン)
- さまざまな年末の伝統行事に触れたり、行事の意味を考えたりしながら活動し、日本の文化に親しむ。
- 正月を迎える準備をする。

身近な環境・教材	生 活
<p>自然… 風の冷たさ、霜柱、吐く息の白さ、日向と日陰、氷、落ち葉、木の実、空や雲の様子</p> <p>野菜… (収穫) ブロッコリー、ホウレンソウ、カブ、ダイコン、サニーレタス</p> <p>栽培… スイセン、ビオラ、ヒヤシンス</p> <p>歌…… あわてんぼうのサンタクロース、サンタクロース、お正月、きよしこのよる、もちつき、カレンダーマーチ</p> <p>フォークダンスなど… ジングルベル、タタロチカ、トレロカモミロ、サーラシアンサークル、おしくらまんじゅう、あぶくたつた</p> <p>絵画・制作… クリスマスツリー、リース、サンタクロース、プレゼントを入れる袋</p> <p>絵本… ぐりとぐらのおきゃくさま、14ひきのおおそうじ、まどからのおくりもの、14ひきのもちつき、オズの魔法使い、月刊絵本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○保育室や遊具など身近な物の大掃除をする。 ○手洗い、うがい、消毒、薄着の習慣をつける。 ○暖房器具の危険性を知り、安全に過ごそうとする。 ○防寒具(手袋やマフラーなど)の始末の仕方を知る。 ○ポケットに手を入れて歩かない。 ○カレンダーや時計を見て見通しをもちながら生活する。 ○文字や数に 관심をもつ。(かるた、トランプ、オセロなど)
<p>環境の構成・援助のポイント</p> <p>目的に向かって、友達と協力して取り組み、達成感を味わうために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子ども同士で気付いたことや考えたことを出し合ったり、良かったところや工夫しているところを認め合ったりして、自信をもって表現できるようにする。 ○クラスで目標を決めたり頑張るところを示したりして、みんなで一緒に取り組み、つくり上げていく楽しさややり遂げた満足感を味わえるようにする。 ○劇や合奏などに取り組む中で、自分の力を発揮し友達と気持ちを合わせると、よりよくなることを実感し、心地よさや満足感を味わえるようにする。 <p>友達と一緒に戸外で体を動かして遊ぶために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちが体を十分に動かし、ルールや遊び方を話し合いながらサッカーやドッジボール、鬼ごっこなどを進めていくように見守り、ルールを守る大切さや楽しさを感じられるようにする。 ○いさかいが起った時は、お互いに思いを伝え合えるようにするとともに、じっくり話を聞きながら相手の思いに気付くような言葉をかけたり、思いの橋渡しをしたりする。 ○体を動かす気持ちよさや体が温まる感覚を共有しながら教師も一緒に遊びを楽しむようにする。 ○固定遊具(雲梯、鉄棒、登り棒など)や縄とびなどの苦手な遊具にも取り組もうとする気持ちを受け止め、見守ったり、励ましたりしていく。また、繰り返し頑張っている様子を紹介したり、できるようになったことを共に喜んだりして、達成感へとつなげていく。(がんばりカードの利用) <p>冬の自然や行事に興味・関心をもつために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○風邪の予防についての視覚的教材(紙芝居や絵本、ペーパーサートなど)を取り入れ、手洗い、うがいや薄着の大切さを感じられるようにする。また、戸外では日だまりの暖かさに気付くよう声をかける。 ○冬野菜を自分たちで育てたことを振り返り、栽培物の生長を感じたり、収穫して食べたりする喜びを味わえるよう援助する。 ○もちつきの道具出しや米とぎなど自分たちができることを一緒に行い、もちつきの工程に興味をもてるようにする。匂いや感触、薪の爆ぜる音などを五感で感じている姿に共感する。 ○クリスマスの曲をかけたり、みんなでツリーやリースを飾ったりして、クリスマスの雰囲気を感じられるようにする。 ○カレンダーを見ながら、もうすぐ新しい年がくることや一年間を振り返った話をする。また、新年を気持ちよく迎えたいという思いを高めるために、みんなで部屋や倉庫などを掃除できるような道具(ほうき、ちりとり、スポンジ、雑巾、バケツなど)を準備する。 	

》 5歳児 1月

ね ら い

- たくさんの友達と共に目的に向かって見通しをもって遊びに取り組む。
- 自分なりの目標に向かって工夫したり根気強く取り組んだりして自信をもつ。
- 冬の自然や行事に興味・関心をもち、遊びや生活に取り入れて楽しむ。

経験してほしい内容

- 残り少ない園生活になったことを知り、3学期の生活に見通しをもつ。
- クラスの友達皆で一緒に協同的な遊びをすることを楽しむ。
 - ・友達と考えを出し合い、話し合ったり役割を分担したりして一緒に活動を進める。
 - ・自分の思いを言葉でわかるように伝えたり相手の思いにも耳を傾けたりし、互いに折り合いをつけながら活動を進める。
- 文字や数、時計などに関心をもち、生活に取り入れる。
- これまでの経験を活かしながらイメージを豊かにし、遊びをよりよくしようと工夫する。
(生活発表会、鬼ごっこ、陣取り、ドッジボール、サッカー、ごっこ遊びなどの協同的な遊び)

- 自分の目標をもち、それに向かって粘り強く取り組み、自信をもって行動する。
- 友達と競い合ったり、刺激を受けたりしながら、目標に向かって意欲的に取り組む。
- できなかつたことができるようになる喜びを味わい、達成感や満足感をもつ。
(固定遊具、短縄、長縄、ホッピング、竹馬、まりつき、一輪車など)

- 冬の自然現象に興味・関心をもち、発見したり工夫したりしながら遊びに取り入れる。
(吐く息の白さ、霜柱、日向と日陰、木々の様子、空や雲の様子、雪、氷、さざんか)
- 考えたこと気付いたことを友達同士伝え合ったり喜び合ったりする。(氷つくり、霜柱)
- 栽培物に関心をもち観察したり、世話をしたり、収穫したりする。
(球根の栽培、ブロッコリー、ダイコン、ホウレンソウ、コマツナなどの青菜)
- 新年の行事や昔遊びに関心をもつ。
(正月、新年会、鏡開き、どんどや、干支、たこあげ、こままわし、お手玉、あやとり)
- 節分に関心をもち、豆まきに向かって、クラスみんなで力を合わせて取り組む。
(鬼の面や、鬼ヶ島、ますつくりなど)

身近な環境・教材	生 活
<p>自然… 霜、霜柱、日向と日陰、空や雲の様子、雪、氷、さざんか、球根の栽培</p> <p>野菜… (収穫) ブロッコリー、キャベツ、大根、カブ</p> <p>歌…… 一年中の歌、たこ、ゆき、カレンダーマーチ、豆まき</p> <p>フォークダンスなど… ジェンカ、誕生日の仲間、タタロチカ</p> <p>絵本… エルマーとりゅう、エルマーと16匹のりゅう、ゆきむすめ、だいごとおにろく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○修了を前に生活習慣の最終確認をする。 ○インフルエンザなどの予防を意識し、丁寧な手洗いうがいを行う。 ○自分から進んで挨拶をする。 ○名前を呼ばれたら、はっきりと返事をする。 ○話を最後まで聞く。 ○弁当は、25分以内で食べ終わる。 ○ハンカチを身につけ使う。 ○早寝、早起き、朝ごはんの習慣を身に付ける。 ○日常の食事に关心をもちバランスよく食べる。
<p>たくさんの友達と共に目的や見通しをもって遊びに取り組むために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○カレンダーなどを用いて、残り少ない園生活であることを話し合いながら、見通しをもって過ごせるようにする。 ○いろいろな活動にみんなで協力して取り組んでいくために共通理解できる場を設け、友達とやりたいことを出し合いながら活動に見通しをもって過ごせるようにする。 ○小グループで活動する時間をとり、考えを出し合ったり、作品を見合ったりできるようにする。 ○年少・年中児を客として迎える機会を設け、年下の友達に優しく接したり、クラスの友達と共に達成感を味わったりするよう援助する。 ○カルタ、すごろく、トランプなどの正月遊びを通して、文字や数字に関心をもつたり、友達と話し合って遊びを進めたりする楽しさを味わえるようにする。また、手作りカルタ、伝言ゲーム、しりとり、鉛筆でなぞり遊びなどを通して書くことや文字に関心をもたせる。 ○時計の針や時間を意識できるように、声をかけながら生活していく。 ○集団遊びを通して、ルールを話し合ったり、自分たちで遊びを作ったりする面白さや友達とのつながりを感じられるようにする。困ったときにすぐに話し合ったり、降園前などの話し合いで話題にしたりして、意見を言い合いながらみんなで遊びをつくりあげていけるようにする。 <p>自分なりの目的に向かって工夫したり、根気強く取り組んだりするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分なりの目標をもって固定遊具や他の運動遊具に取り組むことができるよう、励ましたりポイントを伝えたりして少しずつでもできたことを認め、やる気を引き出していく。できたことをともに喜んだり、友達同士で認め合ったりする機会をつくり、その子なりの頑張りを認めていく。 ○がんばりカードやがんばり賞などを用意し、自分や友達の頑張りが目に見えてわかつたり互いの刺激となったりできるようにする。 ○帰りの会などで、友達の取り組みを見たり聞いたりする場をもつことで、遊びへの意欲が高まったり、自分もやってみようという意欲につながったりするよう援助する。 <p>冬の自然や行事に興味・関心をもち、遊びや生活に取り入れて楽しむために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○氷、霜、霜柱、吐く息の白さ、日向、日陰など天候の変化に気を配り、機会を逃さず、氷作り、霜柱の観察など不思議さ、形や様子に関心をもってかかわることが出来るようになる。(透明の空き容器、虫眼鏡での観察など) ○冬野菜の生長に関心をもてるよう、一緒に見たり、変化に気付いたりできるよう話題にしていく。また、寒いときには、わらを敷くことなど、野菜を大切に育てることに関心をもてるようになる。 ○新年的あいさつを交わしたり、子ども新年会、豆まきの由来について、話題にしたりし、写真、絵本、紙芝居などを通して、季節の行事に関心をもてるようになる。 ○凧作りに関心をもたせ、バランスや風の受け方を考えながら、製作、凧揚げを楽しみながら最後まで取り組むことが出来るよう援助していく。 ○節分の日の豆まきをどのように進めるかを話し合いながら、みんなで力を合わせ、一人一人が意欲をもって取り組めるようになる。 ○鬼の面を工夫して作り上げていくよう援助する。(素材の工夫、目の部分の開け方、本物らしく工夫するなど) 	

» 5歳児 2月

ね ら い

- たくさんの友達と一緒に目的に向かって協力したり、見通しをもって行動したりしながら遊びや活動を進め、充実感を味わう。
- 自分なりの目標や目的に向かって根気強く取り組み、達成感を味わう。
- 自然の変化や行事に関心をもち、遊びや生活に取り入れて楽しむ。

経験してほしい内容

- 目的に向かって友達と一緒に考えを出し合いながら、遊びがより面白くなるように工夫したり自分たちで準備したりして進める。
- 友達と考えを出し合い、一緒に作り上げていく楽しさや、自分たちの思いが実現できた達成感を味わう。
 - ・友達と思いを伝え合い、必要なものを準備したり、表現の仕方を工夫したりして楽しむ。
- 言葉のやりとりの面白さや文字・数量・図形を取り入れながら、友達と一緒に遊びを進める楽しさを味わう。
- ルールを決めたり遊び方を伝え合ったりして、みんなで遊びを進めていく楽しさや充実感を味わう。
(ボール遊び・陣とり・わらべうたあそび・鬼あそび・縄遊びなど)

- できなかったことや苦手に感じていることにも意欲的に取り組み、できるようになる喜びを味わい、達成感や満足感をもつ。
- 自分で目標を決めて、あきらめずにやり抜いたり、友達の頑張りに気付いたりして、互いに認め合いながら遊びを進めていく。
(固定遊具、短縄、長縄、ホッピング、竹馬、まりつき、一輪車など)

- 真冬の自然現象に興味をもち、友達と試したり調べたりして遊ぶ。
(霜・霜柱・氷・雪など)
- 飼育動物や栽培物に関心をもち、観察したり、世話をしたり、収穫したりする。
(カメ・うさぎ・インコなど)
(ブロッコリー、ダイコン、ホウレンソウ、コマツナ・キャベツ・ジャガイモなど)
- 冬越しをする植物や芽吹きの様子を、興味をもって見たり調べたりする。
(チューリップ、ヒヤシンス、クロッカス、スイセン、ムスカリ、ウメ・モモなど)
- 節分やひな祭りなどの行事に関心をもって取り組み、楽しむ。
 - ・行事の意味やその願いなどを知ると共に、イメージをふくらませ楽しむ。
 - ・必要な材料や用具を選んで工夫しながら丁寧に作り、それを使って遊んだり飾ったりする。

身近な環境・教材	生 活
<p>自然… パンジー、ナデシコ、水仙、ビオラ、ヒヤシンス、シクラメン、クスの実、チューリップ、クロッカス、ムスカリ、桃の芽、梅の開花、霜、霜柱、氷、雪、白い息</p> <p>野菜… (収穫) ブロッコリー、ダイコン、ホウレンソウ、コマツナ、キャベツ</p> <p>歌…… 豆まき、雪のこぼうす、ひな祭り、修了式に向けて(園歌、思い出のアルバム、修了の歌、君が代)</p> <p>フォークダンスなど… タタロチカ、サークル、別れのワルツ、誕生日の仲間、きつねとがちょう</p> <p>絵本… 泣いた赤鬼、ねずみのすもう、図鑑、月刊絵本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○修了を前に生活習慣の最終確認をする。 ○時間を守って(8時40分までに)登園する。 ○鼻水が出たらかむ。 ○姿勢よく食べる。(両足を床につける。) ○箸を正しく持って食べる。
<p>環境の構成・援助のポイント</p> <p>たくさんの友達と一緒に目的に向かって協力したり、見通しをもって行動したりしながら遊びや活動を進め、楽しむために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年少・年中児等を客として迎える機会を設け、友達とともに達成感を味わえるようにする。(発表会ごっこ、お店屋さんごっこなど) ○年少・年中児に遊びを教えたり優しく接したりしている姿を認め、年長としての自信をもてるようにする。 ○役割を意識できるような話し合いをしたり、互いに認め合う場を設けたりして協力して取り組む楽しさを感じたり、自分が必要な存在だと感じることで自信につなげたりできるようにする。 ○活動の内容や準備など子どもたちと話し合い、決まったことや予定表など、目で見て分かるように図示しておく。 ○伝承遊びや日常生活の中で、文字や数字などにかかわって遊べる場をつくる。 ○組み合わせ方(構成)を試したり工夫したりする中で图形への関心を広げていく。(積み木、カブラ、スカリーノ、折り紙など) ○自分たちで決めた取り組みやルールをつくって進める中でのいさかいは、できるだけ子どもたちで解決の方法を見つけるように見守る。時には、一緒に考え解決に向かうよう思いを受け止めたり言葉を補ったりしていく。 ○ボール遊びや鬼ごっこなど、自分たちで用具やラインを準備できるよう、扱いやすい場所に置いておく。 <p>自分なりの目標や目的に向かって根気強く取り組み、達成感を味わうために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の成長を感じたり、自信につながったりするよう、できしたことや努力しているところを本人や周りの子どもたちにも知らせていく。 ○一人一人が自分のもっている力を十分に発揮できるよう、認めたり励ましの言葉をかけたりする。 ○それぞれに目標を立て、挑戦する気持ちがもてるようにする。頑張りを認め合う場をつくり、充実感が味わえるようにする。 ○今まで苦手だと思っていたことやできなかつたことに対してやってみようという意欲がもてるよう、教師から誘い出したり励ましたりして支えていく。 <p>自然の変化や行事に関心をもち、遊びや生活に取り入れて楽しむために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○天候の変化に気を配り、雪や氷、霜、霜柱など、機会を逃さず遊びに取り入れる。今までの経験から、繰り返し試したり工夫したりできるよう、材料や用具を用意する。霜柱や氷のできる様子などに関心を広げていけるよう、絵本や図鑑を用意する。(透明な空き容器、絵本、図鑑) ○年少・年中児と一緒に飼育動物の世話をする機会を設け、分かりやすく教えたり優しく接したりできるよう援助し、その姿を認めていく。 ○幼児と一緒に冬野菜の世話をする中で、生長の様子などへの気付きやつぶやきを見逃さず受け止めたり、周りの幼児へ広げたりしていく。収穫した野菜の大きさや重さ、色、形などに関心をもてるよう話題にしていく。 ○冬から春への自然の変化に気づき、発見を楽しんだり、クラスの話題にしたりしていく。 (日だまりの暖かさ、日向ぼっこ、木の芽、つぼみなど) ○節分に関する絵本や紙芝居を用意したり、豆まきの意味について考え合う場を設けたりして節分に関心がもてるようにする。 ○子どもと一緒にひな飾りを出し、ひな祭りの由来や段飾りの道具の名前や使い方を伝え、行事に関心をもてるようにする。 ○ひな人形製作では、ひな人形の特徴に気付き、自分なりに考えて作れるように素材や用具を用意する。それぞれのイメージを大事に受け止め、工夫してつくる姿を十分に認めていく。 	

» 5歳児 3月

ね ら い

- 友達と思いを伝え合いながら遊びを進め、友達とのつながりを深める。
- 修了の喜びや小学校生活への期待をもち、自信をもって行動する。
- 自然の変化に気付いたり行事を経験したりする中で、春の訪れを感じる。

経 験 し て ほ し い 内 容

- みんなで考えを出し合い、残り少ない園生活を十分に楽しむ。
 - ・友達との別れを惜しみ、残りの園生活を大切に過ごす。
- 友達と一緒にしたい遊びにじっくりと取り組む。
- 友達のよさに気付き、認め合いながら遊びを進める。
- これまでの経験を生かしながら、意見を出し合い遊びを楽しくする。

- 修了に向けてのいろいろな行事や活動の中で、自分の成長を感じたり、周囲の人への感謝の気持ちをもったりする。
 - ・修了式の意味を知り喜びの気持ちをもつとともに、規律ある態度で練習や式に臨む。
 - ・年長としての経験や園生活の仕方について、年下の友達に教えたり伝えたりする。
 - ・見通しをもって生活する。(カレンダー、朝の集まりなど)
- 残り少ない園生活を楽しみ、1年生になる喜びと期待をもって生活する。
 - ・園生活の思い出を綴ったり、記念の作品を作ったりする中で、これまでの日々を振り返り、楽しさや大切さを感じる。(作品袋製作、修了記念)
 - ・自分たちの使った共同の遊具や用具の手入れをし、感謝の気持ちをもつ。
- 文字や数、いろいろな表示や標識などに関心をもったり、それらを使ったりする。
 - ・時計を見たり、時間を意識したりしながら行動する。

- 身近に春の訪れを感じながら、その不思議さや美しさなどに気付き、興味をもってかかわる。
 - ・つぼみや草木の芽吹き、日差しや風の暖かさなどを感じる。
 - ・友達と自然物に触れ、春の訪れや生長を感じたり、期待をもって観察したりする。
 - ・春の花や、木の芽のふくらみの様子を見て、春が来たことに気付く。
- ひな祭り会やお別れ遠足などの行事や活動を楽しみながら、季節の移り変わりを感じる。
 - ・行事の意味やその願いを知り、イメージを広げながら参加する。
(ひな段飾り、子どもたちの手作りひな人形、桃の花、お別れ会、弁当終わりなど)

身近な環境・教材	生 活
<p>自然… パンジー、ノースポール、スイセン、モクレン、アネモネ、ヒヤシンス、スイトピー、チューリップ、桃、桜の芽吹き、モクレン、風や日差しの暖かさ、植物の芽吹き、ウグイスの鳴き声</p> <p>野菜… (収穫)キャベツ、イチゴ</p> <p>歌…… うれしいひな祭り、おもいでのアルバム、ドキドキドン1年生、園歌、君が代、卒業の歌、一年生になったら、はる、これまで歌ってきた歌</p> <p>体操、フォークダンスなど…</p> <p>別れのワルツ、誕生日の仲間</p> <p>絵本… ひなまつりのおきゃくさま、はるよこい、もりのひなまつり、おおきくなるっていうことは、月刊絵本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○職員室の先生方との会食を楽しむ。 ○異年齢児との食事を楽しむ。 ○修了を前に生活習慣の最終確認をする。 ○8:30~8:40に登園する。 ○ハンカチを使う。 ○靴を立ったまま履く。 ○相手の目を見て話を聞く。 ○ご飯とおかずを交互に食べる。 ○保護者への感謝の気持ちをもつ。(毎日の弁当や送迎) ○時計を意識して生活する。 ○生活の中で必要な数や量を考える(牛乳の数、欠席者数、配付物、遊具や道具の数)
<p>友達と思いを伝え合いながら遊びを進め、友達とのつながりを深めるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今まで楽しんできた遊びを友達と一緒に存分に楽しめるように場と時間を確保する。 室内:ごっこ遊びに必要なものを作るための素材(絵の具、新聞紙、広告紙、空き箱、段ボール箱、毛糸、紙粘土、カラーポリ袋など) 戸外:鬼ごっこ、ドッジボール、サッカー、陣取りなどルールのある集団遊びが楽しめる場(ラインやサッカーゴール) 砂遊びの場(スコップ、バケツ、といなど、ダイナミックに遊べる遊具) 泥団子作りの場(赤土、黒土) ○残り少ない園生活の中で自分のやりたいことに十分取り組むことで、満足して幼稚園を修了するように、子どもの思いを受け止めしていく。 ○友達と集って遊びを楽しもうとする姿や、自分たちの力で進めていくとする姿を見守り、子どもたちが主体的に自信をもって生活できるようにする。子どもが必要としたときに、手助けをするようにする。 <p>修了の喜びや小学校生活への期待をもち、自信をもって生活するために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今後の予定をカレンダーに書き、修了までの見通しがもてるようになる。 ○たくさんの人が修了を祝ってくれることを伝え、修了式に成長した姿を見てもらいたいという思いを高めながら、これまで支えてくれた周りの人々への感謝の気持ちがもてるよう援助する。 ○修了式の練習を通して規律ある態度に気付かせ、励ましたり伝えたりしながら幼児が自信をもって取り組めるようにかかる。(証書のもらい方、返事やお辞儀の仕方、椅子の座り方、姿勢を崩さない、話を聞く態度) ○みんなで声を合わせて歌うことを楽しむとともに、美しい歌声に気付かせる。 ○園生活の思い出を振り返る場をつくる。(これまでの写真、別れや思い出の言葉を綴る、作品を綴る、修了記念制作をする) ○子どもたちと一緒にこれまでの園生活を振り返り、楽しかったことや頑張ったこと、年下の友達に伝えておきたいことなど、子どもの言葉をしっかり聞く。その言葉を思い出として綴ったり、年下の友達に伝える場をつくったりする。 ○遊具や保育室の大掃除、整理整頓の場を設ける。(子どもも大掃除) ○時間の見通しをもてるように時計を見て行動する機会をもち、その姿をしっかり認めていく。 ○保護者へのお礼のカードを作るなどして、幼児らしく感謝の気持ちを表し、伝えるようにする。 <p>自然の変化に気付き、春の訪れを感じるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな春への気付きを出し合う場を設けることで意識を向けさせ、園庭の草木の変化や生長を喜ぶことができるようになる。(スイセン、チューリップ、クロッカス、アネモネ、ヒヤシンス等の栽培物の球根の芽やつぼみや花、園庭の菜の花、ハクレン、ノースポール) ○ひな人形の特徴に気付き、自分なりに考えて作れるように素材や用具類を準備する。自分たちの作ったひな人形を見せ合いながら、刺激を受け合ったり、よさに気付いたりできるような場を設ける。 ○ひな祭りの意味や、段飾りの道具の名前や使い方などを伝え、桃の節句の行事に关心をもたせる。 ○お別れ遠足や弁当終わり、お別れ会など一つ一つの行事を終えながら、春の訪れや自分たちの成長を感じていけるよう援助する。 	



スタートカリキュラムとは、小学校へ入学した子供が、幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を發揮し、新しい学校生活を作り出していくためのカリキュラムです。

(文部科学省 スタートカリキュラム スタートブック)



スタートカリキュラムの見方と進め方

○合科的・関連的な指導

- ・スタートカリキュラムにおいては、自分との関わりを通して、総合的に学ぶ子どもの発達の特性を踏まえ生活科を中心とした合科的・関連的な指導の充実を図ることが大切である。このような指導により、児童が自らの思いや願いの実現に向けた活動を、ゆったりとした時間の中で進めていくことが可能となる。(文部科学省 スタートカリキュラム スタートブック平成27年1月より)
- ・合科的な指導とは、各教科のねらいをより効果的に実現するための指導方法の一つで、単元又は1コマの時間の中で、複数の教科の目標や内容を組み合わせて、学習活動を展開するものである。また、関連的な指導とは、教科等別に指導するに当たって、各教科等の指導内容の関連を検討し子ども、指導の時期や指導の方法などについて相互の関連を考慮して指導するものである。(指導要領解説 生活科編 P43 より)

○モジュールでの授業

入学時の子供は、長い時間じっと椅子に座って学習することが難しく、身体全体を使って学ぶという発達の特性がある。この時期の子どもの学びの特徴を踏まえ、例えば、20分や15分程度のモジュールでの時間割を構成したり、活動性のある学習活動を行ったりするように工夫する。(文部科学省 スタートカリキュラム スタートブック平成27年1月より)

○T.T.の活用

トイレ・けがの世話や何かあった時の対応ができ、子どもたちに安心感が生まれるように、1週間のうきうきタイム等は、可能な限りT.T.で行う。
例えば、学級支援員・特別支援学級担任・少人数担当・専科などにT.T.を依頼する。一人でも多くの教師が子どもにかかわり、声をかけ、心細さを取り除いたり、学校のことを教えたりすることが大切である。

○1日の始まり

慣れるまでは、1日の始まりは歌や手遊びを行う。内容は、新1年生の連絡会の時に幼稚園・保育所・認定こども園(以下園)に3学期にしている手遊びや遊びを聞き取りしておき、それらを組み合わせて行う。手遊びは数遊びや言葉遊びなど、その後の学習につながるように工夫して使うと効果的である。

○ほっとスペースを作る

教室内に、数種の遊びのスペースを作る。低いテーブル、絵本、折り紙(広告など切ったもの)、お絵かき用の紙などあると園と似た環境になる。一人で園から入学してきた子どもも心落ち着く場にしたい。

○6年生の協力

登校してすぐの遊びの時間、朝自習や掃除など、6年生との交流を依頼する。6年生と交流することで、1年生は安心感を得られ、6年生は最上級生としての自覚を高める意義がある。

○できることは自分たちで

園では年長として、年下の幼児の世話やクラスの仕事など、色々経験をしている。給食の準備や掃除など、自分たちでできることは自分でするようにする。

うきうきタイムについて

入学してから1週間ほどは、安心して学校生活を送るために、時間にゆとりをもって、1・2校時を弾力的に扱う時間を設定する。これを本カリキュラムでは「うきうきタイム」と言う。

○うきうきタイムの進め方

うきうきタイムは、生活科を中心とした合科的・関連的な指導を行ったり、音楽10分・生活25分・音楽5分・書写20分・音楽5分・生活25分など、児童の実態に合わせて時間を組み合わせて行ったりする。

活動の切り替わりの時間にはトイレタイムや片付けタイム等を取り入れ、チャイムも有効に活用する。

○うきうきタイムの時数

うきうきタイムは、生活科を中心とした合科的・関連的な学習となっている。そのため、重きを置く教科で時数をカウントすることができる。

○うきうきタイム時間割りについて

時間割に書くときは、「うきうきタイム」と書き、教科書を持ってきてもらうために教科名も入れる。

1年生担任が初めての教師でも、すぐに活用できるように細かく例を示している。

指導例を参考にして、応用を加えて活用してください。

» スタートカリキュラム 週計画案 4月1週

指導例:
実態に応じて活用してください

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目							
子どもの姿	こころ(徳) 登校時、泣いている児童、席に着いたままどうしたらよいか分からない児童がいる。「ママがいい」と言う。											
	まなび(知) どんなことをするのか期待に満ちあふれている児童もいる反面、学習に対して不安な児童もいる。											
	からだ(体) 緊張のためうまく動くことができない児童がいる反面、元気いっぱいの児童もいる。											
目標	こころ(徳) 1年生になったことを喜び、級友や職員に親しみをもつ。											
	まなび(知) 学校生活に必要な場所の位置を覚える。(靴箱、教室、トイレ、保健室、職員室)学校生活の1日の流れがわかる。											
	からだ(体) 学校のリズムに慣れる。トイレの使い方、安全な遊具の遊び方を知る。給食を楽しく食べる。											
行事	入学式	集団下校	身体測定 集団下校 3時間授業	給食開始 集団下校 4時間授業	集団下校							
朝自習	名前を呼ばれたら 返事をする練習 「おめでとうございます」 「ありがとうございます」	ランドセルを机上に 置き、外遊びをする。	登校してきた児童から道具の整理をし、できたら自由遊びをする。外遊びは6年生に見守ってもらう。 読み聞かせ(担任や6年生)									
1	行事	うきうきタイム	うきうきタイム	うきうきタイム	うきうきタイム							
	入学式 危険なことがない限り児童の様子を見守る	音楽 うたでなかよしになろう	生活 すたあとぶつく がつこうのせいかつ	書写 えんぴつのもちかた	音楽 うたでなかよしになろう	生活 すたあとぶつく がつこうのせいかつ	身体測定 トイレスの使い方・名簿順の並び方など	体育・音楽 遠足のうたの練習	生活 うたでなかよしになろう	音楽・体育・生活 遠足のうたの練習	国語 うたでなかよしになろう	みんなのせかい みんなのせかい
2	行事 入学式											
3	学活	学活	国語	国語・図工	道徳							
	はじめまして(担任挨拶) 入学用品の確認 明日のこと、これからの中学校の準備の仕方	帰りの用意の仕方 登下校の仕方	みんなのせかい 絵を見ておはなし	みんなのせかい 絵を見ておはなし すきなものいっぱい 名刺に好きな物の絵を書き加える	学校の決まり 授業中の約束を考える 遠足の約束 次の歩き方 ゴミを捨てないなどの約束							
4				生活	算数・学活							
		下校指導	帰りの用意の仕方 登下校の仕方	がっこのせいかつ 給食の食べ方 準備の仕方	オリエンテーション タンブリンをたたいたり 数字カードを呼んだりして5までの数に親しむ 給食の準備をしよう							
5	入学式後数日は教職員による下校指導を行う。下校の方向別に、担任外にも担当を決め依頼をする。			2週までは、給食室と連携して早めに準備してもらう。								

» スタートカリキュラム 週計画案 4月2週

指導例:
実態に応じて活用してください

	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
子どもの姿	こころ(徳) 学校についてだいたい分かってきたが、まだ不安な気持ちがある。友達と関われず一人でいたり、雰囲気に慣れ、授業に集中できなかったりする児童がいる。				
	まなび(知) 鉛筆の持ち方や名前を書く際の書き順が身に付いていない。宿題に意欲的である。				
	からだ(体) 遊具遊びを楽しみ、休み時間の度に外に出る。給食をなかなか食べられない児童もいる。				
目標	こころ(徳) 級友や職員に親しみをもち、学校に対する安心感をもつ。				
	まなび(知) 持ち物の整理の仕方、鉛筆の持ち方を知る。授業中と休み時間の区別がわかる。				
	からだ(体) 遊具で安全に遊んだり、体を動かしながら歌ったりして楽しむ。給食の色々な食べ物に慣れる。				
行事	歓迎遠足		初めての5時間授業 授業参観	宿題開始	
朝自習	登校してきた児童から道具の整理をし、できたら自由遊びをする。外遊びは6年生に見守ってもらう。 読み聞かせ(担任や6年生)・運筆など				
1	行事	うきうきタイム	音楽・国語	図工	音楽・書写
	歓迎会 ↓ 遠足	音楽 書写 体育・生活 うたでなかよしになろう はじめて 時を書く姿勢・鉛筆の持ち方などを	うたでなかよしになろう 「ひらいたひらいた」 「ことわのうた」 「ぞうさん」 「めだかのかっこう」 「かごめかごめ」	「じぶんマーク」でみんなともだち 自分のマークを考え描く	うたでなかよしになろう 「さんば」 「ひらいたひらいた」 「かごめかごめ」 で名前当て
			はきはきあいさつ ・どんな挨拶があるか 出逢った友達と挨拶の練習 ・名前を呼ばれたら何い 2週目も、1校時はできるだけ合科的に行う。		ひらがなあつまれ ひらがなの練習「お」「か」
2		生活	図工	体育	
		みんなでがっこうをあるこう 担任と学校探検	「じぶんマーク」でみんなともだち 自分マークをたくさん描き、額や机に貼る	たのしくあそぼう 遊具の遊び方 鉄棒・肋木	
3	算数	書写	算数	体育	算数
	オリエンテーション タンブリンをたたいたり 数字カードを呼んだりして5までの数に親しむ 雨の日の時間割り	あさ(そらかき) うでで字を書こう 「あ」「さ」の練習	かずとすうじ ・いろいろなもの数(5まで)を数えたり読んだりする ・絵カード・ドットカード・数カード・音など使う ・1,2を書く練習	背の順に並ぼう 折り返しリレー 運動会のダンス	かずとすうじ 5までの数について数えたり大きさ比べをしたりするゲーム等を行う ・絵カード・ドットカード・数カード・音など使う ・3,4,5を書く練習
4	書写	図工	学活	国語	国語
	はじめに 字を書く姿勢 鉛筆の持ち方 鉛筆でなぞろう 雨の日の時間割り	すきなものいっぱい 画用紙に好きな物の絵を描く	そうじをはじめよう 初めての掃除 雑巾のしづりかた 教室の拭き方	よろしくね 1~2校時で書いたマークをみんなで紹介し合う ペア→全体 じをかこう ひらがなの練習「い」「う」「え」	あいうえおのうた ・口形に気を付けて正しい発音で音読をする ・「あ」「い」の付く言葉集め
			給食の準備をしよう	給食の準備をしよう	給食の準備をしよう
5			国語	書写	国語(図書)
			よろしくね 返事や挨拶、「すきなものいっぱい」の絵を使しながら自己紹介	ひらがなあつまれ ひらがなの練習「く」「し」「つ」	オリエンテーション ほんがたくさん 司書による読み聞かせ 絵本を借りる
					5校時は、体力や集中力が続かないで、5分前に終了し帰りの準備をする。

» スタートカリキュラム 週計画案 4月3週

指導例:
実態に応じて活用してください

	11日目	12日目	13日目	14日目	15日目
子どもの姿	こころ(徳) まなび(知) からだ(体)	家庭訪問で担任が家に来るのを喜び、担任を身近に感じる。 知っていることを披露したい、早く勉強や宿題をしたいと意欲がある。 早寝早起きのリズムに慣れず、疲れが出てくる。			
	こころ(徳) まなび(知) からだ(体)	学校のリズムに慣れ、新しい友達の名前を覚えて、より多くの人に親しみをもつ。 習った文字や数を書けるようになる。授業時間や学校生活のルールを知る。 規則正しい生活を送り、運動会に向けて、体操や並び方を覚える。			
	行事	家庭訪問 4時間授業			→
朝自習		読み聞かせ(担任や6年生)・運筆など			
1	道徳	生活(音楽と合科)	音楽(国語と合科)	国語	国語
	べんきょうがはじまりますよ チャイムが鳴った時の絵を見て、よい行いをしている人を話し合う	がっこうにいるひとと なかよくなろう 1年生の違うクラスの人とも仲良くなろう 出会った友達にサインをしてもらう	はくをかんじてあそぼう 拍を感じながら名前遊びをする	あいうえおのうた ・口形に気を付けて正しい発音で音読をする ・「え」「お」の付く言葉集め	じをかこう ひらがなの練習 「ち」「て」「と」「な」「に」
2	生活	体育	道徳	体育	算数
	ともだちとがっこうを たんけんしよう (2年生ど) 特別教室	背の順に並ぼう 折り返しリレー 運動会のダンス	あいさつ 前週の学習「はきはきあいさつ」は実行できているかも振り返る	かけっこ 立ち幅跳び ソフトボール投げの練習	かずとすうじ ・10までの数について数えたり大きさ比べたりするゲーム等を行う ・数あそび(表に果物の数だけ色を塗り比べる)
3	生活	国語	生活	書写	図工
	ともだちとがっこうを たんけんしよう (2年生ど) 中庭・運動場	じをかこう ひらがなの練習 「き」「け」「こ」 あいうえおのうた ・口形に気を付けて正しい発音で音読をする ・「う」の付く言葉集め	がっこうにいるひとと なかよくなろう ・先生への名刺渡しとサインもらい ・休み時間や翌日以降も続ける	ひらがなあつまれ ひらがなの練習 「さ」「す」「せ」「ぞ」「た」	しそんとなかよし 草や石、葉などの自然の材料で友達と一緒に表現することを楽しむ
4	算数	算数	国語(図書)	算数	図工
	かずとすうじ ・10までの数について数えたり大きさ比べをしたりするゲーム等を行う ・絵カード・ドットカード・数力カード音など使う 6,7,8を書く練習	かずとすうじ ・10までの数について数えたり大きさ比べをしたりするゲーム等を行う ・絵カード・ドットカード・数力カード音など使う 9,10を書く練習	ほんがたくさん 司書による読み聞かせ 絵本を借りる	かずとすうじ ・10までの数について数えたり大きさ比べたりするゲーム等を行う ・絵カード・ドットカード・数力カード音など使う 数の分解	しそんとなかよし 草や石、葉などの自然の材料で友達と一緒に表現することを楽しむ
給食室と連携して早めに準備する。					
5	算数の授業がない時も、数への抵抗が大きい児童もいるため、数と数字に親しむ活動を適宜行う。		第3週まで、1日に1回は体を動かす活動を入れる。		

» スタートカリキュラム 週計画案 5月1週

指導例：
実態に応じて活用してください

	16日目	17日目	18日目	19日目	20日目
子どもの姿	こころ(徳) まなび(知) からだ(体)	家連休明けで久しぶりの学校に喜ぶ半面、気が緩みがちになったり、不安になったりする。 学校では様々な学習があることが分かり、意欲的に取り組むが活動によっては苦手意識が出てくる児童がいる。 緊張感がとけ、学校生活の疲れが出てくるが、遊んだり運動したりすることを楽しむ。			
	こころ(徳) まなび(知) からだ(体)	けじめのある生活ができるようになり、進んで友達と一緒に遊んだり、苦手な学習に取り組んだりする。 文字の書き方、書き順を覚えたり、文字を読んだりする。1単位時間の授業に慣れる。			
		規則正しい生活を送り、運動会の練習に意欲的に取り組む。			
行事	家庭訪問 交通教室 4時間授業	[ゴールデンウィーク明け] 耳鼻科検診	スポーツテスト	音読の宿題を5月より始める。	
朝自習	読み聞かせ(担任や6年生)・運筆など				
1	国語 あいうえおのうた 音読を友達と聞き合う じをかこう ひらがなの練習「ぬ」「ね」	音楽・国語 はくをかんじてあそぼう 拍を感じながら名前遊びをする 「さんぽ」 ほんがたくさん 担任による読み聞かせ あいうえおのうた	国語 あめですよ リズムを楽しみながら音読をする じをかこう ひらがなの練習「む」「め」	国語 あめですよ 場面ごとに人物や擬声語を比べ、様子を創造しながら音読する じをかこう ひらがなの練習「も」「や」	国語 あめですよ 場面ごとに人物や擬声語を比べ、様子を創造しながら音読する じをかこう ひらがなの練習「る」「れ」
2	行事 交通教室	図工 ひかりのくにのなかまたち 光を通す飾りを工夫して作る	行事 スポーツテスト ソフトボール投げ 立ち幅跳び 50m走	算数 いくつといくつ 6の合成と分解	道徳 バムのおかたづけ
3	算数 なんばんめ ・右、左、上、下、前、後ろの言葉の確認 ・上下、左右、前後の順序数	図工 ひかりのくにのなかまたち 光を通す飾りを工夫して作る	生活 なんばんめ ・右、左、上、下、前、後ろの言葉の確認 ・上下、左右、前後の順序数	体育 ラジオ体操 運動会のダンス かけっこ	体育 ラジオ体操 運動会のダンス かけっこ
4	書写 ひらがなあつまれ ひらがなの練習「の」「は」「ひ」「ふ」	算数 なんばんめ ・右、左、上、下、前、後ろの言葉の確認 ・上下、左右、前後の順序数	生活 ともだちとがっこうを たんけんしよう グループで自由に学校探検をする	学活 係を決めよう	算数 いくつといくつ 7の合成と分解
給食室と連携して早めに準備する。					
5	国語 じをかこう ひらがなの練習「へ」「ほ」「ま」「み」	生活 ともだちとがっこうを たんけんしよう 4校時に見つけたものを 発表し合う	国語 じをかこう ひらがなの練習「ゆ」「よ」「ら」「り」	国語 ほんがたくさん 司書による読み聞かせ 絵本を借りる	

» スタートカリキュラム 1日の流れ 2日目

指導例:
実態に応じて活用してください

子どもの姿	こころ(徳)	登校時、泣いている児童、席に着いたままどうしたらよいか分からぬ児童がいる。「ママがいい」と言う。	
	まなび(知)	どんなことをするのか期待に満ちあふれている児童もいる反面、学習に対して不安な児童もいる。	
	からだ(体)	緊張のためうまく動くことができない児童がいる反面、元気いっぱいの児童もいる。	
今日のめあて		教室・棚・机の場所を覚え、隣の友達の名前を覚える。	
行事		集団下校・3時間授業	
	教科	主な学習活動	指導上の留意点
登校時		鞄箱に靴を置き、教室に自分で入る。 ○ランドセルを棚に入れたら、音楽が鳴るまで外で遊ぶ。 (ランドセルの中身は出さずに棚に入れるだけ)	・6年生に道具で一緒に遊んでもらうよう依頼しておく。 ・泣いている児童には、担任が寄り添い、泣きやむまで担任がそばにいるようにする。
朝自習		○読み聞かせを聞く。	・読み聞かせコーナーを作り、集まって聞く。
1 うきうきタイム 音楽・生活・書写		①緊張をほぐし、友達と触れ合う。 ○「さあみんなが」「お寺のおしょうさん」を歌う。 ○「おつかいりさん」「チューリップ」 ○自己紹介ができる歌 「ぞうさんのさんぽ」 ・隣の児童に名前を教え、手を取り2人で手遊びをする。	・体験入学でしているものをする。 ・手遊びをして緊張をほぐす。 ・学習したい意欲を受け、新しい歌も教えるながら自己紹介ができるようにする。 ・参加したからない児童は様子を見る。
		②登校後の動きを知る。 ○毎日学校に来てますすることを知る。 ・ランドセルから道具を出す。 ・引き出しの右に教科書、ノート類、左側に筆箱、クレバース色鉛筆類を入れる。(左はお泊りの部屋) ○健康観察の仕方を知る。 ③筆の持ち方を知る。 ○初めて自分の名前を書く。 ○運筆練習をする。	・登校後すぐに不安な児童に気付き、対応できるように、朝、1人1人に教えるのではなく、一斉に道具の片づけ方を知らせる。 ・分からぬ児童は教師と一緒に行う。 ・連絡ノート等入れるかごを準備し、毎朝用具の整理とともに提出物も出すことを知らせる。 ・健康観察では、名前を呼ばれたら返事をし、体調を知らせることを伝える。実際に使う。
2		④学校の1日の流れやいろんな場所の位置を知る。 ○学校の1日のことを知る。 ○学校探検をする。 ・トイレ・職員室・保健室の場所を知る。 ・登校→靴箱の入れ方→教室の動きも知る。	・線なぞりのプリントを準備し、丁寧に教える。 ・線なぞりが終わったら、鉛筆で色塗りをしながら鉛筆の持ち方を指導する。 ・名前を書けない児童は、机上のお手本を見ながら書くよう促す。
休み時間		休み時間の動きを知る。 ○初めての休み時間を過ごす。	・まずトイレに行ってから遊ぶこと。チャイムが鳴ったら帰つてくることを知らせる。
3	学活	帰りの準備の仕方を知る。 ○帰りの準備をする。 ・引き出しから持ち帰る学習用具だけ(引き出しの右側)をランドセルに入れる。	・1人1人できたか確認をする。 ・次の日のことを知らせ、帰りの挨拶をする。
		下校の仕方を知る。	・下校は通学路別に昇降口に並んでから行うことを知らせ、班の色を確認し集まる練習を行う。
下校		一緒に帰る友達や下校の道順を知る。 ○帰りの挨拶の後、昇降口まで行き、靴をはいたら昇降口前で待つ。 ○班に分かれて下校を行う。	・事前に担任外の職員にも協力を依頼する。 ・一緒に帰る友達を知り、下校の道順や危険なところを知らせる。 ・横断歩道の渡り方を教える。

» スタートカリキュラム 1日の流れ 3日目

指導例:
実態に応じて活用してください

子どもの姿	こころ(徳)	登校時、泣いている児童、席に着いたままどうしたらよいか分からぬ児童がいる。「ママがいい」と言う。	
	まなび(知)	どんなことをするのか期待に満ちあふれている児童もいる反面、学習に対して不安な児童もいる。	
	からだ(体)	緊張のためうまく動くことができない児童がいる反面、元気いっぱいの児童もいる。	
今日のめあて		多様なトイレの使い方を知る。朝の準備・帰りの準備自分でできる。体操服の着替え方を知る。	
行事		集団下校・身体計測・3時間授業	
	教科	主な学習活動	指導上の留意点
登校時		靴箱に靴を置き、教室に自分で入る。 ○朝の準備をし、ランドセルを棚に入れたら、音楽が鳴るまで外で遊ぶ。	・6年生に道具で一緒に遊んでもらうよう依頼しておく。 ・泣いている児童には、担任が寄り添い、泣きやむまで担任がそばにいるようにする。
		○読み聞かせを聞く。	・紙芝居を図書室から借りておく。
1 うきうきタイム 音楽・生活・学活		①緊張をほぐし、友達と触れ合う。 ○「さあみんなが」「じゃんけんぽん」をする。 ○「おつかいありさん」「ちょうちょ」「ことりのうた」「めだかのがっこ」 ②トイレの使い方・プリントの回し方・体操服の着替え方・名簿順の並び方を知る。 ○トイレの使い方を模擬練習する。 ・和式トイレの使い方も練習をする。 ○プリントを後ろの人に回してみる。 ○体操服に着替え、脱いだ服の始末をする。 ○名簿順に並び練習をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">子どもたちの様子を見てトイレタイムを入れる。</div>	・「じゃんけんぽん」は、勝ったら負けた人の手を取り「一本橋」をする。 ・教科書の絵を見ながら、どんな歌が隠れているか出し合せながら楽しく歌うようにする。 ・学校のトイレは、男女別に分かれていることを知らせる。 ・適足に備え和式トイレの立ち位置、しゃがみ方、用の足し方、拭き方まで教える。 ・プリントを回す時は、一枚取って残りを全部「どうぞ」と言いながら後ろの人に渡す。もらった人は「ありがとうございます」と伝える。(教科書参照) ・保育園や幼稚園でしてきたように、脱いだ服はたたんでおくことを学校でもすることを知らせる。
		③様々な検査受けることができる。 ○身長・体重・視力・運動機能検査を受ける。 ・順番が来たら、自分の名前を言い検査を受ける。	・養護教諭・専科・学級支援の協力を受け、担任は、児童を引率したり、検査の担当がないところの検査を行ったりする。 ・計測をする先生へ「よろしくお願いします」「〇〇です」「ありがとうございました」と一人一人言うことで、挨拶に慣れるようにする。
休み時間		休み時間の動きを知る。 ○休み時間を過ごす	・まずトイレに行ってから遊ぶこと。チャイムが鳴ったら帰つてくことを知らせる。
3	国語	みんなのせかい 絵を見て見つけたものを発表する。 ○教科書の絵を見て、何があるか何をしているか発表をする。 ○発表の練習をする。 ○「おや、なにかな」を音読する。	・教科書を初めて開けるときは、ページをめくって、両手で押すと開けやすくなることを知らせ実践させる。 ・発表の仕方は絵を見ながら考えさせる。 ・名前を呼ばれたら「はい」と返事をして立つことを知らせる。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">集中力が続かない時は、手遊びやなぞなぞ・ゲーム等で気持ちを切り替え、再び学習を始める。</div>	
下校	学活	帰りの準備の仕方を知る。 ○帰りの準備をする。 ・引き出しから持ち帰る学習用具だけ(引き出しの右側)をランドセルに入れる。	・1人1人できたか確認をする。 ・次の日のことを知らせ、帰りの挨拶をする。
		一緒に帰る友達や下校の道順を知る。 ○帰りの挨拶の後、昇降口まで行き、靴をはいたら昇降口前に待つ。 ○班に分かれて下校を行う。	・事前に担任外の職員にも協力を依頼する。 ・一緒に帰る友達を知り、下校の道順や危険なところを知らせる。 ・横断歩道の渡り方を教える。

» スタートカリキュラム 1日の流れ 4日目

指導例:
実態に応じて活用してください

子どもの姿	こころ(徳)	登校時、泣いている児童、席に着いたままどうしたらよいか分からぬ児童がいる。「ママがいい」と言う。	
	まなび(知)	どんなことをするのか期待に満ちあふれている児童もいる反面、学習に対して不安な児童もいる。	
	からだ(体)	緊張のためうまく動くことができない児童がいる反面、元気いっぱいの児童もいる。	
今日のめあて		友達の名まえを数人覚える。給食の流れを知る。	
行事		集団下校・初めての給食・4時間授業	
	教科	主な学習活動	指導上の留意点
登校時		鞋箱に靴を置き、教室に自分で入る。 ○朝の準備をし、ランドセルを机に入れたら、音楽が鳴るまで外で遊ぶ。	・6年生に遊具と一緒に遊んでもらうよう依頼しておく。 ・泣いている児童には、担任が寄り添い、落ち着くまで担任が一緒にずっとスペースで遊ぶ。
朝自習		○読み聞かせを聞く。	・紙芝居を図書室から借りておく。
1	体育・音楽・生活 うきうきタイム	①1年生全体で友達と触れ合い、名前の紹介をし合う。 ○「かもつれっしゃ」で自己紹介をする。 ○「ぞうさんのさんぽ」「てとてであいさつ」を歌う。 ○遠足の出し物の歌「ドキドキドン1年生」を歌い、振りを考える。	・いろんな友達と名前の紹介をし合うようにする。 ・初めての1年生全体での活動のため、さらに緊張する児童、興奮する児童がいると思われるので児童1人1人の観察を行う。 子どもたちの様子を見てトイレタイムを入れる。
2		②学校のいろんな場所の位置を知る。 ○学校探検をする。 ・給食室、事務室、放送室、校長室、図工室、図書室の場所を知る。 ○見つけたものを自由ノートに絵に描いて発表する。	・初めての給食のため、給食室がある校舎へ探検に行く。 ・給食室では、給食当番になった時の流れを給食の先生に教えてもらうようする。 ・探検に行って、心に残った場所の絵を描かせる。
休み時間		休み時間の動きを知る。 ○休み時間を過ごす。	・まずトイレに行ってから遊ぶこと。チャイムが鳴ったら帰ってくことを知らせる。
3	国語	みんなのせかい 絵を見て見つけたものを発表する。 ○教科書の絵を見て、何があるか何をしているか発表をする。 ○発表の練習をする。 ○名刺に名前を書く。	・発表の仕方を振り返らせることで発表の仕方が身に付くようになる。 ・全員に発表の機会を与える。 ・教科書の絵から、ヒツジは3匹、鳥は1羽と数にも触れさせる。 ・名前を書く練習として、名刺に名前を書くようする。 ・名前を書けない児童には、机の名札のお手本を見ながら書くように促す。
	図工	すきなものいっぱい すきな物の絵を描く。 ○名刺に絵を描く。	・名刺に、好きな物の絵を描かせる。 ・後日、先生たちに配ることを伝え、丁寧に書くよう言葉をかける。
4	生活	がっこうのせいかつ 給食について知る。 ○給食の準備の仕方や食べ方、片付け方を知る。 <div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px;"> 給食の準備の時の約束 ・当番は、1週間交代する。 ・当番でない人は静かに座って待つ。 ・配り終わったら、量が多い人は減らしてよい。 </div>	・給食の準備の時の約束を写真や絵の約束カードを使って確認し、理解しやすいようにする。 ・自分で食べられる量をだんだん考えられるようになり、残すことがなくなるよう頑張ってほしいことを伝える。 ・給食の先生たちが、みんなのことを考えて栄養たっぷりでおいしい給食になるよう、心を込めて作ってくれていることを伝える。
給食		○給食の準備の仕方や食べ方、片付け方を実践する。 <div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px;"> 給食の流れ 1 トイレに行き、石鹼で手を洗い、うがいをする。 2 当番が準備をする。 3 量が多い人は減らす。 4 食べ終わったらおかわりをするか、みんなが終わるまで座って待つ。 5 食べ終わったら、牛乳パックをつぶし、ストローについているビニールを取る。 6 順に並んで片付ける。 </div>	・給食の流れを写真や絵で提示し、黒板に貼つても確認できるようにする。
下校		一緒に帰る友達や下校の道順を覚える。 ○帰りの挨拶の後、昇降口まで行き、靴をはいたら昇降口前で待つ。 ○班に分かれて下校を行う。	・事前に担任外の職員にも協力を依頼する。 ・一緒に帰る友達を知り、下校の道順や危険なところを知らせる。 ・横断歩道の渡り方を教える。

» スタートカリキュラム 1日の流れ 5日目

指導例:
実態に応じて活用してください

子どもの姿	こころ(徳)	登校時、泣いている児童、席に着いたままどうしたらよいか分からない児童がいる。「ママがいい」と言う。	
	まなび(知)	どんなことをするのか期待に満ちあふれている児童もいる反面、学習に対して不安な児童もいる。	
	からだ(体)	緊張のためうまく動くことができない児童がいる反面、元気いっぱいの児童もいる。	
今日のめあて		休み時間と授業中の違いや学校での約束を知る。給食の準備や片付けの仕方を覚える。	
行事		集団下校・4時間授業	
	教科	主な学習活動	指導上の留意点
登校時		靴箱に靴を置き、教室に自分で入る。 ○朝の準備をし、ランドセルを棚に入れたら、音楽が鳴るまで外で遊ぶ。	・6年生に遊具と一緒に遊んでもらうよう依頼しておく。 ・泣いている児童には、担任が寄り添い、落ち着くまで担任と一緒にずっとスペースで遊ぶ。
朝自習		○読み聞かせを聞く。	・紙芝居を図書室から借りておく。
1	音楽・体育・国語・生活 うきょうタイム	①1年生全員と触れ合い、遠足の出し物の練習を行う。 ○「うさんのさんぽ」で自己紹介をする。 ○「貨物列車」でじゃんけんゲームをする。 ○遠足の出し物の歌「ドキドキドン1年生」を振り付けで歌う。	・体育館で1年生全体で行う。 ・「うさんのさんぽ」で、他のクラスの友達とも名前の紹介をし合うようにする。 ・じゃんけんをする前に自己紹介をする。じゃんけん後は長く列になり、ゲーム形式で行う。 ・振りや言葉を入れて、「ドキドキドン1年生」の練習をする。
2		②絵を見て見つけたものを発表する。 ○教科書の絵を見て、何があるか何をしているか発表をする。 ○音読をする。 ③遊具の遊び方を知る。 ○遊具や砂場の遊ぶ約束を考える。 ○友達と楽しく遊ぶ。	・「みんなのせかい」の最終ページで学習をする。 ・音読は、みんなで、グループで、1人でなどと様々な仕方で行うとよい。 ・遊ぶ場所は、各クラスで交代で使う。 ・遊具の約束は、園での経験を踏まえ、自分たちで考えるようにする。
休み時間		休み時間の動きを知る。 ○休み時間を過ごす。	・まずトイレに行ってから遊ぶこと。チャイムが鳴ったら帰ってくることを知らせる。
3	道徳	学校の決まりを知る。 ○授業と休み時間の違いを考える。 ○授業や学校での決まりを考える。 遠足の約束を知る。 ○遠足の約束について考える。 ・困ったことが起きたらすぐに担任に言う。 ・自分の足で歩く。 ・ゴミは持ち帰る。	・休み時間と授業の違いを知らせ、手本となる態度の人を褒め、広げる。 ・教科書、ノートなどに落書きをしない、授業中は椅子に座る、授業中は教室の中にいる、廊下は歩くなど確認する。 ・事前に具体的に遠足の約束を考えることで、楽しく遠足に参加できるようにする。
4	算数	オリエンテーション 数の存在を知る。 ○教科書の絵を見て話しをしたり、担任の示す数を数えたりする。	・教科書の絵から数に興味をもつようになる。 ・教科書の絵の上にブロックを置くことで、1対1対応ができるようにする。 ・タンブリン等を用いて数当てゲームをすることで、数への興味を高める。
	学活	給食の準備をする。	・まだ慣れず、時間がかかるため、児童をあわてさせないよう早めに準備を行う。
給食		○給食の準備の仕方や食べ方、片付け方を実践する。 給食の流れ 1 トイレに行き、石鹼で手を洗い、うがいをする。 2 当番が準備をする。 3 量が多い人は減らす。 4 食べ終わったらおかわりをするか、みんなが終わるまで座って待つ。 5 食べ終わったら、牛乳パックをつぶし、ストローについているビニールを取る。 6 順に並んで片付ける。	・給食の流れを写真や絵で提示し、黒板に貼つても確認できるようにする。
			給食後、帰りの準備をする。
下校		一緒に帰る友達や下校の道順を覚える。 ○帰りの挨拶の後、昇降口まで行き、靴をはいたら昇降口前で待つ。 ○班に分かれて下校を行う。	・集団下校は今日で最後であることを知らせ、教師は後ろにつくようにする。

» スタートカリキュラム 1日の流れ 7日目

指導例:
実態に応じて活用してください

子どもの姿	こころ(徳)	登校時、泣いている児童、席に着いたままどうしたらよいか分からぬ児童がいる。「ママがいい」と言う。		
	まなび(知)	どんなことをするのか期待に満ちあふれている児童もいる反面、学習に対して不安な児童もいる。		
	からだ(体)	緊張のためうまく動くことができない児童がいる反面、元気いっぱいの児童もいる。		
今日のめあて		遊具の遊び方を覚え、安全に遊ぶ。自分たちだけで下校ができる。		
行事		4時間授業		
	教科	主な学習活動	指導上の留意点	
登校時		靴箱に靴を置き、教室に自分で入る。 ○朝の準備をし、ランドセルを棚に入れたら、音楽が鳴るまで外で遊ぶ。	・6年生に遊具と一緒に遊んでもらうよう依頼しておく。 ・泣いている児童には、担任が寄り添い、落ち着くまで担任と一緒にほっとスペースで遊ぶ。	
朝自習		○読み聞かせを聞く。	・紙芝居を図書室から借りておく。	
1	音楽 書写 書き 体育 生活	①歌で緊張をほぐしたり、友達と触れ合ったりする。 ○「ぞうさんのさんぽ」で自己紹介をする。 ○「貨物列車」でじゃんけんゲームをする。 ○いろいろな歌を歌う。 ②字を書く姿勢を見る。 ○字を書く姿勢を知り、鉛筆で実際に書く。 ○運筆練習を行う。 ③遊具の遊び方を知る。 ○遊具や砂場の遊ぶ約束を考える。 ○友達と楽しく遊ぶ。	・「ぞうさんのさんぽ」で、いろいろな友達と名前の紹介をし合うようにする。 ・教科書に載っている歌を探しながら歌うようにする。 ・20分続けてではなく、合間に他の活動を入れながら音楽を行う。 ・書写の教科書をお手本に姿勢のまねをさせる。 ・線なぞりを準備し、いろいろな線をなぞらせる。早く終わつた人は色鉛筆に持ち替え、絵の色を正しい鉛筆の持ち方で塗るようにする。 ・遊具の場所は、各クラスで交代で行う。 ・遊具の約束は、園での経験を踏まえ、自分たちで考えるようにする。	
2		休み時間	休み時間の動きを知る。 ○休み時間を過ごす。	・まずトイレに行ってから遊ぶこと。チャイムが鳴ったら帰つてくことを知らせる。
3	書写	あさ(そらがき) 「あ」「さ」を覚える。 ○「あ」「さ」を実際に書く。	・字を書く姿勢や鉛筆の持ち方を確認する。 ・空書きした後、実際に書かせる。	
4	図工	すきなものいっぱい すきな物の絵を描く。 ○画用紙に好きな物の絵を描く。	・画用紙に好きな物の絵を描かせる。 ・1つを大きく描くようにする。 ・授業参観で保護者に見てもらうことを知らせ、目的意識をもたせる。	
	学活	給食の準備をする。	・まだ慣れず、時間がかかるため、児童をあわてさせないよう早めに準備を行う。	
給食		○給食の準備の仕方や食べ方、片付け方を実践する。 給食の流れ 1 トイレに行き、石鹼で手を洗い、うがいをする。 2 当番が準備をする。 3 量が多い人は減らす。 4 食べ終わったらおかわりをするか、みんなが終わるまで座って待つ。 5 食べ終わったら、牛乳パックをつぶし、ストローについているビニールを取る。 6 順に並んで片付ける。	・給食の流れを写真や絵で提示し、黒板に貼つても確認できるようにする。	
		給食後、帰りの準備をする。		
下校		自分たちだけで下校をする。 ○友達と一緒に通学路の班ごとに下校する。	・昇降口で、グループに分け、下校を見送る。	

■参考資料

「幼稚園教育要領解説」 平成20年7月
「文小学校学習指導要領解説生活編」 平成20年6月

■関連サイトの紹介

「スタートカリキュラム スタートセット」
文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成27年1月
https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/startcurriculum_mini.pdf

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について(報告)
平成22年11月11日 文部科学省
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/070/houkoku/1298925.htm

国立教育政策研究所 幼児教育研究センター
http://www.nier.go.jp/youji_kyouiku_kenkyuu_center/y_index.html

本書の作成に携わった先生方

幼稚園

一新幼稚園 園長 中尾 史子 先生
向山幼稚園 園長 山本ちはる 先生
向山幼稚園 主任教諭 松井 仁美 先生
古町幼稚園 主任教諭 船場ゆかり 先生

小学校

向山小学校 校長 竹下 宏 先生
田迎南小学校 校長 渡邊 亨 先生
向山小学校 教諭 竹下 町子 先生
帶山西小学校 教諭 山本 幸恵 先生
飽田西小学校 教諭 西田 美加 先生

平成
26年度

一新幼稚園 元園長 池辺 京子 先生
向山幼稚園 元園長 高木智代子 先生
帶山西小学校 校長 森江 一史 先生
龍田西小学校 教諭 宮村 まり 先生

